

質問回答書

2022年3月2日

「(案件名) タイ国持続的な PM2.5 予防・軽減のための大気管理プロジェクト」
(公示日:2022年2月16日/調達管理番号:21a01130)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	6 ページ3)a)	シミュレーションモデル適用を目指した①インベントリ改善のための調査、②シミュレーションモデルの実施、③汚染構造分析の再委託調査が定額計上となっています。例えば、これらのうち、一つもしくは二つの再委託調査の実施にあたって、十分な経験を有する個人が実施した方が、プロジェクトの活動を効果的・効率的に実施出来ると判断した場合、定額計上分(もしくはそれ以下の金額)を特殊備人費として計上し、提案すること事は可能でしょうか。	再委託調査の実施について、再委託費ではなく特殊備人費として定額計上することは、ご提案可能です。
2	6 ページ3)b)	定額計上となっている高性能コンピューター一式の中には、シミュレーションに必要な有償ソフトウェア等の購入費用及びインストール等の技術費用や機材輸送費 UPS、ファイヤーウォール、データ保管等に用いる記憶媒体は含まれますか、別計上とすべきでしょうか。	機材輸送費、記憶媒体は本見積りに計上願います。有償ソフトウェア等の購入費用は、高性能コンピューター一式に含まれる想定です。インストールは業務従事者が行うことを想定しているため、技術費用の計上は認めません。

3	6 ページ3)b)	シミュレーションの実施を外部委託することを想定する場合、設置施設の外部から高性能コンピューターへネットワーク経由でアクセスする必要があります。そのようなネットワーク設備は設置施設に整備済みでしょうか。あるいは別計上すべきでしょうか。	ネットワーク設備の設置施設の整備状況は、タイ側に確認していますが、現時点で不明です。ネットワーク設備を新たに整備する必要がある場合には、高性能コンピューター一式の費用の中で対応する想定です。
4	18 ページ成果 6	メコン諸国を対象としたワークショップ開催の準備のみとなっています。活動は準備だけではなく、ワークショップの実施も含まれると考えて良いでしょうか。	本プロジェクトの活動としては、ワークショップ開催準備・実施を行います。プロジェクト開始後にタイ側と確認が必要ですが、プロジェクトの協力期間(3年間)を踏まえ、開催回数は1回、開催形式はオンライン、開催にかかる諸経費は原則としてタイ側負担を想定しています。また、大気分野の支援を行う他ドナーとの連携を予定しています。
5	28 ページ(5)成果 5 に関する業務	「5-3 活動 5-2で作成した研修カリキュラムに基づき研修を実施する。」また「5-5 パイロット地域での活動計画を県レベルで全国普及させるためにセミナーを開催する。」とありますが、それぞれ研修対象となる MONRE 地域・県事務所職員、パイロット地域内県職員、全国の県職員が参加する際の交通費等の費用はカウンターパート側の負担と考えてよろしいでしょうか？	タイ国内向けの研修・セミナーの開催にかかる諸経費のタイ側との詳細な費用分担は、プロジェクト開始後にタイ側と改めて確認が必要ですが、国内の参加者の交通費はタイ側負担を想定しています。
6	30 ページ第一行	「本プロジェクトの実施後、タイ側が一定の品質をもって持続的に GHG インベントリ の更新・シミュレーションモデルの実施等を…」とありますが、GHG インベントリではなく、成果1の通り PM 発生源インベントリという解釈でよろしいで	ご理解のとおり、PM 発生源インベントリと読み替えて下さい。

		ようか。	
--	--	------	--

以上